

---

# 黒猫の復讐

祈子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

黒猫の復讐

### 【コード】

N7139B

### 【作者名】

祈子

### 【あらすじ】

復讐をしにきた黒猫の噂。これは黒猫の悲劇のお話し。

## 噂話（前書き）

グロテスクな表現が含まれます。

## 噂話

アナタはこの噂を信じますか。

黒猫の復讐。

何処にでもあるペットショップで、その黒猫は売られていた。

他のどの猫よりも一段と可愛いげのある猫で、その漆黒の艶やかな美しい毛並は猫が好きな人達の目にすぐに止まった。

そして黒猫は他の猫より早く買われていった。

猫は幸せだった。

買い取ったのはごく普通の家で、仲の良い家族。猫が来てから毎日世話をし、とても可愛がっていた。

しかし、一年も経てば人の心など容易くガラツと変わる。

だいぶ成猫に近づいてきて子猫の時とは随分と違い、大きくなった猫を家族は段々と世話をしなくなった。

、蹴り飛ばしたり暴力を振るうようになってしまったのはそれから二、三ヶ月の事である。

猫はただ悲しかった。

だが、黒猫の悲劇はこれだけで終わらない。

家族は、たまたま引越しをする予定であったのだが、引越し先の祖母の家には動物が入れない。

この家族の父親は可愛いくなくなった、いらなくなった黒猫を、住んでいた家の押し入れに閉じ込めた。

普通はこんな酷いことはしないだろうし、誰かが止めるはずだが、一家は猫をゴミと同じように考えていた。

押し入れの中で鳴いても鳴いても、黒猫に帰って来るのは沈黙。

どんなに必死にあがいても、辺りに変化はない。

お腹が空いた。

苦しい。

悲しい。

息ができない。

もっと生きたいのに。

人間ガ死ネバイノニ。

その感情は黒猫の、初めて抱いた恨みだった。

その後だった。

引つ越し先で黒猫の家族が死んだのは。

全員が即死で、死因は大量出血。

喉を噛みきられ、心臓や肉を食われて、全身がところどころ食べられた跡があったのだ。

そして、全員共通しているのは、傷口に獣の歯形が付いていることだった。

アナタはこの噂を信じますか。

アナタは命を大切にしていますか。

アナタの家の押し入れの中に、しみは有りませんか。

押し入れから猫の鳴き声が聞こえますか。

## 噂話（後書き）

噂話……。

読んでくださいますありがとうございますと申し上げます。

怖い噂がなかなか思いつきませんでしたが無い脳を絞って作り出しました（笑）

このお話はこのあと展開していきますので、続きも見てください。  
さい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7139b/>

---

黒猫の復讐

2010年10月9日00時04分発行